

5月臨時会 共産不在で緊張感なし

4月の愛知県議選後初の5月臨時議会が5月27日開会され、県自治体部の県政対策担当者が傍聴しました。

共産党不在の愛知県議会は、大村知事のオール与党状態。知事表情はにこやかで、正副議長選挙の投票の間に議員が談笑するなど議会に緊張感はありませんでした。

自民が正副議長独占 減税日本は議長に賛成

議長選挙では、自民、新政あいち、公明の3会派がそれぞれ正副議長候補を擁立。投票の結果、議長に神野博史議員（東海市）、副議長に堀崎純一議員（半田市）が選出され、正副とも自民党が独占しました。

名古屋市西区で初当選した減税日本議員は、自民党議長に賛成票を投じ、自民党との一体ぶりを示しました。

豚コレラ対策費 24億円超

臨時議会では、3月以降の豚コレラの防疫対策と養豚農家支援の24億5714円の一般会計補正予算案が可決されました。

豚コレラ対策は、共産党県議団が要求してきた施策です。

知的障がい者の職員採用選考

県は2020年度の知的障がい者を対象とした県職員採用の選考をおこないます。

採用予定は1名。勤務先は建築局建築指導課。受付は5月28日～6月14日。

6月県議会への請願・陳情

6月定例県議会は6月14日開会・7月3日閉会予定で、請願・陳情の提出期日は6月18日の本会議前となります。

党県委員会は、協力共同団体が請願・陳情書を議長に直接手渡せるように議長に要請します。これが実現すれば、6月18日午前9時30分

に各団体が請願・陳情書を持って議長に面接することになります。集合場所と時間は追って連絡します。

19年版「農業の動き」

県はこのほど、2019年版の「農業の動き」と「林業の動き」を作成しました。

1961年から毎年発行されているデータ集で、愛知県の農業、林業の概況を知ることができます。県農政課のWebページで閲覧できます。

児童虐待相談件数は 9年連続過去最多

愛知県では、児童福祉法第12条に規定する児童相談所として、名古屋市を除く地域に10カ所の児童相談所を設置しています。

2018年度の相談対応件数は1万7691件で過去最高。うち児童虐待相談は4731件で、前年度より367件増加し、9年連続で過去最多件数を更新。

県女性相談センターの 2018年度相談状況

愛知県女性相談センターの2018年度の相談件数は1万1483件でした。

相談内容は「人間関係」が90.7%、DV相談は1152件。

子どもを守る防護柵

大津市の交差点での自動車事故に巻き込まれた園児ら16人が死傷した事故を受け、名古屋市はこのほど180カ所の交差点を対象に防護柵などを点検しました。防護柵設置など緊急的な対策を実施する交差点は35カ所としています。

田原市は、本年度中に市内の市道と県道の計32カ所の交差点に防護柵を設置する方針。柵は金属製で、高さ約80センチ。保育園児の散歩コースや小学生の通学路の交差点や横断歩道に設置。